

多摩消防団びらり

第14号
発行 吉部
平成27年1月 多摩消防団広報部
印刷 井上印刷所



多摩消防団 団長 松澤 喜義

新年を迎えて

謹んで新年のお慶び申し上げます。
 昨年は、広島での土砂崩れや御嶽山の噴火など、現在では「まさか！」と云うような災害が起きており、消防団への期待も高まっています。自治会、町会をはじめ消防関係団体の皆様には、大変お世話に成っています。
 消防署と消防団は、両輪のごとく頑張ります。多摩区の安心、安全を祈り本年も良い年でありますように！



多摩消防署 署長 松野 忍

年頭挨拶

消防団員の皆様、そして御家族の皆様には、平素より多摩区の防火・防災活動に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。
 昨年は、長野北部地震、また大規模土砂崩れにより消防職員を含む、多くの尊い人命が犠牲となった災害等が、全国的に発生いたしました。
 本年も多摩区では、消防団と一致団結して安心で明るい街づくりに努力して参る所存です。
 結びに、本年も皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

辞令交付式

平成二十六年四月十二日、多摩消防署講堂において、辞令交付式が行われました。多摩消防団では、新班長や新入団員、また退団された方々に対して、松澤喜義団長から辞令が渡されました。



平成二十七年多摩区消防出初式受賞者（敬称略）

県知事表彰

永年勤続消防団員

稲田分団 分団長 木幡 義幸
 稲田分団 部長 手塚 貴之
 市長表彰

永年勤続功労消防団員

生田分団 副分団長 遠藤 厳留
 生田分団 部長 小金 亘
 生田分団 班長 岸 隆広
 生田分団 団員 田沢 勇
 生田分団 団員 結城 実

多摩消防団長表彰

勤務成績優秀消防団員
 稲田分団 部長 飯嶋 利幸
 生田分団 部長 高橋 幸治

勤務成績優良消防団員

稲田分団 班長 保田 昌彦
 団員 上原 敏之、斉藤 淳
 森田 博史、村越 瑞穂
 玉木 清一
 上保 功、山方 治男
 稲木 剛、佐藤 清孝

退職消防団員

元稲田分団 班長 五嶋 位昌
 元稲田分団 班長 矢口 真一
 元稲田分団 班長 石井 弘和
 元稲田分団 班長 廣瀬 哲也
 元稲田分団 班長 木浪 雅明
 元稲田分団 班長 田口 裕幸
 元稲田分団 班長 野村 治
 元稲田分団 班長 伊藤 敬之
 元稲田分団 班長 金子 茂
 元稲田分団 班長 齋藤 茂
 元生田分団 班長 小竹森康明

多摩防火協会会長表彰

消防功労部隊

稲田分団 菅班
 生田分団 中央生田班
 平成二十六年退職消防団員
 元生田分団 団員 河野 順

神奈川県操法大会に出場して



指揮者 長沢班 米山 恵司

今回の県大会へは、生田分団で選手を募り出場しました。

分団長を始め役員の方々が各班をまとめ、選手全員が集中出来る環境を作っていただき全力で取り組むことが出来ました。

結果は二十三チーム中、十七位でしたが、普段顔を合わせない他の班の方々や分団の役員の方々、そして一緒に訓練の日々を乗り越えた六名の選手との絆が深まり、生田分団が更に団結できた気がします。

各班、そして分団の方々、また陰から支えていただいた本団や協力団体の皆様ありがとうございました。

川崎市大会 (稲田分団代表)

宿河原・堰班 指揮者 門部 正人

私は、今回初めて市大会選手として出場しました。

先輩、OBの方に色々なアドバイスを頂き大会までの訓練を精一杯に取り組んだ結果、優秀賞(川崎市第二位)を勝ち取る事ができました。

大会当日は、生憎の天候で足元が滑りやすくなっていました。選手全員訓練の成果を出す事が出来ましたこと、関係者の皆様に感謝をしたいと思います。



川崎市大会 (生田分団代表)

中央生田班 指揮者 岸 隆広

今年の当班は、県、市、区と三つの大会に参加し、班員は約半年間訓練に参加しました。

その間、地域の皆様、各班の皆様のご指導、ご声援、ご協力を頂きとても感謝しております。

この経験を基に皆様と更に強い絆を築き、今後の消防活動に活かしていきたいと思えます。



多摩消防団 消防大会

七月十三日、明治大学生田キャンパス内において第十五回多摩消防団消防大会が行われ、各班から選抜された九隊が、小型ポンプ操法の演技を行いました。

優勝 稲田分団 中野島班
準優勝 稲田分団 宿河原・堰班
三位 稲田分団 菅班

個人優秀賞

指揮者 浅谷 武 (中野島班)
一番員 田村 英喜 (中野島班)
二番員 田中 純也 (登戸班)
三番員 本山 正春 (中野島班)



優勝 中野島班 班長 石井 伸昌
今大会は、優勝の決意のもとに訓練に臨みました。

厳しい訓練に耐え、それぞれの役割を果たした仲間達に心より敬意を表し、その気概と成果を誇りに思います。

またご理解、激励を頂いた家族や地域の方々に対して感謝の意と共に、万が一の有事の際には、この訓練での培った強固な結束と士気を以てお応えしたいと思います。

多摩区水防訓練

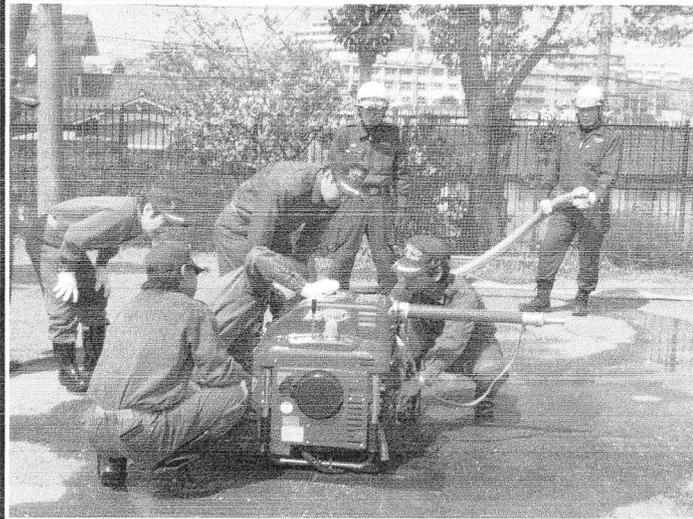
六月四日、多摩川河川敷の二ヶ領せせらぎ館付近において、多摩区水防訓練が開催されました。

消防団員は、関係各局と共に応急救護訓練、要救助者搬送訓練、水防工法訓練を実施しました。



消防団用機械器具等性能検査

四月十二日、川崎市消防訓練場において、小型可搬ポンプ及び消防ホースや付属品、積載車などの総合点検を実施し、災害などの有事に対する備えを確認いたしました。



花火大会 特別警備

八月二十四日、調布市花火大会が開催され、多摩消防団では多摩消防署と協力して現場での警備活動に参加しました。

消防車両も待機させ、多摩川河川敷の警備を行いました。

「みんなが消防士」事業

火の取り扱いの危険性や、防火、防災の大切さを学んでもらう為、多摩消防団では、消防署員と共に地域の小学校に出向し、四年生を対象にした「みんなが消防士」の授業を十一校で開催しました。



多摩区民祭

十月十八日、多摩区民祭が開催され、多摩消防団の生田分団が会場警備のために多摩消防署と共に参加しました。

福知山花火大会のような事故、火災を教訓とし、来場者にケガなどないよう重点的なパトロールを行いました。

当日は、天候に恵まれ多くの方々においでいただき、待機していた消防車に子供たちに乗ってもらうなど市民の皆様とのふれあいも行われました。



警 防 訓 練

菅班 班長 大熊 重雄

解体予定の建物を使い、消防隊との実戦的な連携訓練を実施しました。

ロープ索でホースを吊り上げ、梯子から、建物上部に進入し屋内放水して、実戦さながらの訓練は、安全かつ迅速な行動を实につける貴重な体験でした。



東生田班 落成式

東生田班 班長 木下 義磨

東生田班の器具置場が完成しました。

二十五年度に器具置場の建て替えの話が入り、二十六年度に工事着手となりました。

毎月工事日程の話し合いを重ね八月七日に完成し鍵の引き渡しとなり、八月九日に東生田町連また消防関係者の方々を御招待し落成式を行いました。

新入団員の感想

登戸班 田中 純也

今年から消防団へ入団し、まだ何もわからない中で訓練が始まりました。

指導者の方や周りの団員の皆様のサポートもあり、少しでも速く正確で綺麗な操作になるよう何度も教えていただきました。

その中で次第に操法訓練の大切さが分かるようになりました。

この経験を糧に、より一層今後の消防団活動に精進していきたいと思います。

年末火災特別警備の実施

十二月三十一日、多摩消防団では年末火災特別警備が行われました。

各班が、担当地域を車両で巡回警戒等を行い出火防止や放水防止対策に努め住民の皆様が安心して、年末年始を迎えられるように活動しました。

また、器具置場にも複数名の団員を待機させ、不測の事態に備えました。

教訓を

生かして備える

大災害

(平成二十七年 統一標語)

多摩消防団広報部

本団広報部長	井田 久
生田分団部長	齊藤 嘉章
稲田分団部長	飯嶋 利幸
生田分団団員	古谷 典久
生田分団団員	山方 治男
生田分団団員	荒井 稔
生田分団団員	大木 康弘
稲田分団団員	若林 実継
稲田分団団員	小林 創
稲田分団団員	平糠 毅
稲田分団団員	早坂 新吾
稲田分団団員	原嶋 卓也

編集後記

今号も多くの活動を紹介しましたが、特に今回は行事への参加感想などを多くの団員から聞きとり、記事にしました。

頑張って活動している消防団員の意気込みや思いを、少しでも感じていただければ幸いです。

多摩消防団員だより第十四号の発行に際し、御協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。